# えびの ボランティアセンターだより

第12号
2020年9月23日

## 7/1 加久藤中学校3年生の車いすと高齢者疑似体験を行いました

「学校」「地域」「家庭」がつながる福祉教育

**ふ**だんの **く**らしの **し**あわせ

の実現に向けて考えることが**福祉教育**です。

発行／社会福祉法人　えびの市社会福祉協議会　ボランティアセンター
〒889-4221　宮崎県えびの市大字栗下67　TEL　0984-35-2800　FAX 0984-35-1983

# 夏休みボランティア体験月間

## カレーの日＆
## 手作りマスクを作ろう
### 加久藤地区で開催しました

中学生を対象とした、夏休みボランティア体験を、加久藤、真幸、飯野地区の３か所で予定していましたが、本年度は新型コロナウイルス感染拡大に伴い、加久藤地区１か所のみの開催となりました。

女子中学生はカレー作り（調理ボランティア）と小学生のマスク作りの支援（活動支援ボランティア）を行い、男子中学生は総合福祉センター敷地内の清掃（清掃ボランティア）を体験してもらいました。

マスク作りでは、アイロンや縫い針を使う小学生の手伝いをしながら、コロナ終息の願いを込めて、それぞれのマスクを作り上げました。

昼食時には、出来る限りのソーシャルディスタンスを取りながら、中学生が作ってくれた美味しいカレーを皆でいただくことが出来ました。

コロナウイルスで様々な制限がある中での開催でしたが、たくさんの笑顔を見ることができとても嬉しく思います。

今回、参加いただいた加久藤中学校、加久藤小学校の皆さんありがとうございました。

**《活動報告》**

実施日：７月28日（火）
場　所：総合福祉センター
参加者：小学生　18名（４～６年生）
　　中学生　14名（３年生）
　　その他　11名
　　合　計　43名

参加者の体温チェック

カレー作りの調理

デイサービスセンター玄関周りの剪定作業

倉庫内の物資の仕分け作業

# 令和２年度 県下一斉ボランティアの日

## ～ 中止のお知らせ ～

毎年８月に実施していました、ボランティア連協によります「清掃活動」は、
新型コロナウイルス感染拡大防止に伴い中止となりました。
令和３年度は、加久藤地区にて実施の予定です。

# コロナ禍と災害ボランティアセンター

甚大な被害により多くの犠牲者がでた7月豪雨災害から早二ヵ月が過ぎました。

熊本県内では 13 の市町村で災害ボランティアセンターが開設されましたが、ボランティアの受入れについては、新型コロナウイルス感染拡大防止の為、県内または町村内在住者に限り受入れが行われています。

また、8月 25 日現在では、8市町村の災害ボランティアセンターが終了し、「八代市、人吉市、天草市、芦北町、津奈木町」では現在も被災地支援が続いています。

# 災害相互応援協定による人吉市への職員派遣（活動報告）

災害ボランティアセンター開設後、熊本県内から多くのボランティアの方々が被災地支援に来られています。人吉市災害ボランティアセンターでは被災者及び被災地域が広く、スタッフ不足からセンター運営に苦慮しており、九州ブロック社会福祉協議会では災害相互応援協定に基づき、職員派遣が行われました。

えびの市社会福祉協議会からは、7/23 ～7/26 の間、職員１名を派遣し運営スタッフとして、現地でのニーズ調査や電話対応等にあたりました。連日多くの方々にボランティアに来ていただき、受付などでは密をつくらない工夫をしながらのセンター運営となりました。今回の活動を通して、地域や各関係機関との関わりの中で、センター運営のやりかたを考える必要があると思いました。いつ起こるか分からない災害に備え、平時から準備や訓練の必要性を強く感じました。

**えびの市社会福祉協議会　事業課　矢野 香織**

*（ご寄付のお願い！）*

人吉市社会福祉協議会が運営する、災害ボランティアセンターの活動資金にご協力をお願いします！

人吉市社協HP

義援金で支援しましょう

## 令和２年度 ７月豪雨災害義援金 受付中

日本赤十字社では、令和２年７月３日からの大雨災害で被災された方々を支援するため、義援金を受け付けています。
えびの市社会福祉協議会にて受け付けていますので、
**市民の皆様のご協力をよろしくお願いいたします。**

右記のQRコードより、日本赤十字社の義援金・救援金の確認ができます。

日本赤十字社
Japanese Red Cross Society